

事業名 CD	0110060307	武田の里ライフカレッジ支援事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	公民館設置及び管理に関する条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	自主的な生涯学習活動を支援する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民及び市外
これまでの改善経過	平成10年度より男性の聴講生を募集した。 平成16年度より入学金を3000円から4000円とした。 平成20年度より入学金5000円、「武田の里ライフカレッジ」と名称変更し男女共学とする。 会場も市民会館より、東京エレクトロン葺崎文化ホールに変更。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 □市 □委託 ■補助金 □その他 () 学生で組織する武田の里ライフカレッジ運営委員会へ補助金を交付し、運営委員会にて運営方法及び内容を決定する。 毎月1回平日昼間に開催し、午後の講演会を中心に実施するが、午前クラブ・研究会(書道・俳句・切り絵・料理・手芸・陶芸)を実施し、学生同士の交流及び学習を行っている。 講演に加え、移動学習、観劇なども実施。 募集方法は広報・チラシの各戸配付・チラシの掲示による。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	生涯学習の学びの場を提供する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	1,325	1,325	2,123
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,325	1,325	2,123
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.11	0.11	0.18
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	760	750	1,209
D	総事業費(A+C) (千円)	2,085	2,075	3,332
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	104 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	開催講座数	(回)	12	12	12
	学生数	(人)	563	581	586
	受講延べ人数	(人)	4,843	4,787	4,757
成果指標	受講者満足度調査 (算出式数値)	満足と回答した数/回答者数 (%) 317 人/363 人	94.34	84.56	87.32
	受講率 (算出式数値)	受講延べ人数/受講対象延べ人数 (%) 4,757 人/586 人×11 回	78.20	74.90	73.79
効率指標	学生一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/学生数 (円) 3,332 千円/586 人	3,703	3,571	5,686
	受講生一人当たりのコスト (算出式数値)	総事業費/延べ受講者数 (円) 3,332 千円/4,757 人	430	433	700

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 受講者を女性から男女共学に広げたため、受講者数が伸びた。 企画運営については学生により形成されている運営委員会で行い、自主活動に努めている。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない アンケートでの集計で満足度は高い。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 受講者を女性から男女共学に広げたため、受講者数が伸び、効率的である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 全ての市民が対象となることアピールし、より多くの学生が集まる大学としての。	(2)24 年度	(3)23 年度 22 年度の取り組みを検証し、充実を図る。
	22 年度の改善計画 運営委員会で協議		
22 年度の改善結果 31 期を節目に名称を「武田の里ライフカレッジ」とし、会場を文化ホールに変更。 入学金を4,000円から5,000円とし、男女共学とした。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 学生による自主的な活動を推進し、当日の進行、準備等すべての企画、運営も学生の役割としたい。			
課長所見	学びの場として更に、生涯学習宣言都市に相応しい内容を運営委員会で検討実施していく。		